

**PROSES PEMBENTUKAN *GAIRAGO* BENTUK *HASEIGO* DAN  
*FUKUGOUGO***

**SKRIPSI**

diajukan untuk memenuhi sebagian syarat memperoleh gelar Sarjana Pendidikan  
Departemen Pendidikan Bahasa Jepang



oleh

**Dini Endang Kusrini**

**1506388**

**DEPARTEMEN PENDIDIKAN BAHASA JEPANG  
FAKULTAS PENDIDIKAN BAHASA DAN SASTRA  
UNIVERSITAS PENDIDIKAN INDONESIA  
BANDUNG  
2020**

**PROSES PEMBENTUKAN *GAIRAGO* BENTUK *HASEIGO* DAN  
*FUKUGOUGO***

Oleh

Dini Endang Kusri

Sebuah skripsi yang diajukan untuk memenuhi salah satu syarat memperoleh gelar  
Sarjana Pendidikan pada Fakultas Pendidikan Bahasa dan Sastra

© Dini Endang Kusri

Universitas Pendidikan Indonesia

Januari 2020

Hak cipta dilindungi undang-undang

Skripsi ini tidak boleh diperbanyak seluruhnya atau sebagian,  
dengan dicetak ulang, difotokopi, atau cara lainnya tanpa izin dari penulis.

**LEMBAR PENGESAHAN**  
**DINI ENDANG KUSRINI**  
**PROSES PEMBENTUKAN *GAIRAGO* BENTUK *HASEIGO* DAN  
*FUKUGOUGO***

DISETUJUI DAN DISAHKAN OLEH:

Pembimbing I



Linna Meilia Rasiban, M.Pd.

NIP. 198005072008012010

Pembimbing II



Drs. Aep Saeful Bachri, M.Pd.

NIP. 196008061988031002

Mengetahui

Ketua Departemen Pendidikan Bahasa Jepang



Dr. Susi Widianti, M.Pd., M.A.

NIP. 197312032003122001

# PROSES PEMBENTUKAN *GAIRAIGO* BENTUK *HASEIGO* DAN *FUKUGOUGO*

## ABSTRAK

Dini Endang Kusri

1506388

Perkembangan kata serapan bahasa Jepang (*gairaigo*) yang semakin meluas, menjadi salah satu ilmu yang wajib dimiliki pembelajar bahasa Jepang untuk kelancaran dalam berkomunikasi. Walaupun pada bahasa Jepang terkadang memiliki padanan kata yang sama, namun penggunaan *gairaigo* menunjukkan sesuatu yang baru. Adapun hal yang dirasa sulit saat penggunaan *gairaigo* yakni arti makna setelah diserap ke dalam bahasa Jepang yang berbeda dengan arti kata pada bahasa aslinya. Penelitian ini disusun untuk mendeskripsikan dan menganalisis pembentukan *gairaigo* dalam bentuk *haseigo* yang diikuti verba *suru* dan *fukugougo* menggunakan tiga subjek penelitian yakni buku *New Approach Japanese Intermediate Course*, buku *New Approach Japanese Pre-advanced Course*, dan artikel pada *NHK News Web* edisi tahun Januari – Desember 2019, dengan tujuan agar para pembaca memiliki pengetahuan dasar mengenai pembentukan struktur kata, mengetahui arti dan makna pada kata *gairaigo*. Metode yang digunakan pada penelitian ini adalah metode deskriptif untuk menjabarkan suatu fenomena yang terjadi dengan teknik dokumentasi yang bisa berbentuk tulisan ataupun gambar. Hasil dari penelitian ini yaitu diperoleh 59 kosakata *gairaigo* bentuk *haseigo* yang diikuti verba *suru* dan *fukugougo*. Pada pembentukan *haseigo* yang diikuti verba *suru* ditemukan tidak ada penyerapan bahasa asing lainnya selain dari bahasa Inggris, namun pada bentuk *fukugougo* terdapat beberapa kombinasi bahasa asing. Kurangnya pada penelitian ini hanya terbatas mengenai kata *gaiaraigo* dengan imbuhan *suru* dan kata majemuk. Bagi peneliti selanjutnya diharapkan mampu membahas *gairaigo* yang memiliki makna lebih dari satu khususnya pada bentuk *haseigo* dan *fukugougo*.

Kata kunci : *fukugougo*, *gairaigo*, *haseigo*, kajian semantik leksikal, studi analisis kosakata

A FORMATION PROCESS *GAIRAIGO* TO *HASEIGO* AND *FUKUGOUGO*  
FORMS

**ABSTRACT**

Dini Endang Kusrini

1506388

The development of Japanese loanword (*gairaigo*) which is increasingly widespread, has become one of the must-have knowledge for Japanese language learners for fluency in communication. Although the Japanese language sometimes has the same equivalent words, the use of *gairaigo* shows something new. The things that are difficult when using *gairaigo* are the meaning after being absorbed into Japanese which is different from the meaning of the word in the original language. This research is structured to describe and analyze the formation of *gairaigo* in the form of *haseigo* followed by the verb *suru* and *fukugougo* by using three research subjects: New Approach Japanese Intermediate Course, New Approach Japanese Pre-advanced Course, and articles on the January-December 2019 edition of the NHK News Web. The purpose of this study is that readers have a basic knowledge of word structure formation and knowing the meaning of the word *gairaigo*. The method used in this research is a descriptive method to describe a phenomenon that occurs with documentation techniques that can make writing or drawing. The method used in this research is a descriptive method to describe a phenomenon that occurs. The results of this study were obtained 59 *gairago* vocabulary forms of *haseigo* followed by the verb *suru* and *fukugougo*. In the formation of *haseigo* followed by the *suru* verb found no absorption of other foreign languages apart from English, but in the form of *fukugougo* there are several combinations of foreign languages. The lack of this research is limited to the word *gairaigo* with *suru* affixes and compound words. For further researchers are expected to be able to discuss loanword which have more than one meaning, especially in the form of *haseigo* and *fukugougo*.

Keywords: compound word, loanword, derivative, lexical semantic studies, vocabulary analysis studies

要旨

ディニエンダクスリニ

1506388

ますます普及している外来語の開発は、日本語学習者がコミュニケーションであるために必要な知識の一つになった。日本語には同じような単語がある場合があるが、外来語の使用は新しいことを示している。外来語を使用する際に困難なことは、日本語に吸収された後の意味であり、母語の単語の意味とは異なる。本研究は「*New Approach Japanese Intermediate Course* ブック」、 「*New Approach Japanese Pre-Advanced Course* ブック」、2019年1月から12までのNHK News Web 三つの研究対象を用いており、外来語で「する」の最終接辞付き派生語と複合語の形成を記述および分析するように構成されている。読者が単語構造に形成に関する基本的な知識を持ち、吸収単語の意味と意味を知ることが目的としている。本研究で使用される方法は、書き込みや描画を行うことができるドキュメンテーション技術で発生する現象を記述するための記述的な方法である。本研究の結果は、59の外来語のスル動詞が付いている派生語と複合語が得られた。本研究の欠点は、スルの接辞と複合語を伴う外来語という言葉に限られている。今後の研究者は、特に派生語と複合語の形で、複数の意味を持つ外来語に付いて議論できると期待されている。

キーワード : 複合語、外来語、派生語、語彙意味論研究、語彙分析研究

## 要旨

ディニエンダクスリニ

1506388

ますます普及している外来語の開発は、日本語学習者がコミュニケーションであるために必要な知識の一つになった。日本語には同じような単語がある場合があるが、外来語の使用は新しいことを示している。外来語を使用する際に困難なことは、日本語に吸収された後の意味であり、母語の単語の意味とは異なる。本研究は「*New Approach Japanese Intermediate Course* ブック」、*「New Approach Japanese Pre-Advanced Course* ブック」、2019年1月から12までのNHK News Web 三つの研究対象を用いており、外来語で「する」の最終接辞付き派生語と複合語の形成を記述および分析するように構成されている。読者が単語構造に形成に関する基本的な知識を持ち、吸収単語の意味と意味を知ることが目的としている。本研究で使用される方法は、書き込みや描画を行うことができるドキュメンテーション技術で発生する現象を記述するための記述的な方法である。本研究の結果は、59の外来語のスル動詞が付いている派生語と複合語が得られた。本研究の欠点は、スルの接辞と複合語を伴う外来語という言葉に限られている。今後の研究者は、特に派生語と複合語の形で、複数の意味を持つ外来語に付いて議論できると期待されている。

キーワード : 複合語、外来語、派生語、語彙意味論研究、語彙分析研究

### 1. はじめに

日本の技術はだんだん発展していくので、多くの日本人が外国語を勉強するため外来語の使用に影響を与えた。外来語の使用は文化、経済、政治、医学、技術などで拡張した。和語より日本人が外来語のほうが理解することができる。

Sudjianto と Dahidi (2018:104) によると、外来語を話す時、様々な用語を使用する。例えば、洋語（西部からできた言葉）、借用語と呼ばれる人もいる。外来語は洋語と呼ばれるのに外来語の発展では外国語から影響を受けた。言葉の意味を変更せずに、吸収された言葉が変化された。例えば、「ユーモア」フランス語からできた言葉、「ノート」英語からできた言葉、「インキ」オランダ語からできた言葉、と「タバコ」ポルトガル語からできた言葉(澤田, 1993:230)。

研究の理由は日本語学習者が吸収された意味と言葉構造について基本知識を担わないといけなく、外来語の使用が発展していくのためである。「する」の最終接辞付き派生語と複合語の使用が多いので、この研究の対象に成ることにする。

その問題点に基づき、作者が論文で複合語と「する」の最終接辞付き外来語の構造を研究する。論文のタイトルは「外来語で派生語と複合語の形成するプロセス」。

## 2. 問題提起

- 1) 外来語の派生語と複合語の言葉は何があるか。
- 2) 語彙意味論から見られる外来語の派生語と複合語の形成するプロセスであるか。
- 3) 派生語と複合語の形で外来語を形成するプロセスの意味の拡大であるか。

## 3. 研究の目的

- 1) 外来語の派生語と複合語の言葉を知るためである。
- 2) 語彙意味論から見られる外来語の派生語と複合語の形成するプロセスを知るためである。
- 3) 派生語と複合語の形で外来語を形成するプロセスの意味の拡大を知るためである。



#### 4. 先行研究

本研究には参照として使用されるいくつかの研究がある、一つのは Sawada (1993)の研究、「日本語教育のための基本外来語について」。その研究は日本語教育学習者が意味の変化と発音にするとときよく困難を抱えている。日本語教育では、文法が最初に強調され、次に表記法が続く。一方、外国語の言葉を増やす問題は、学生の必要性に次第である。しかし、教材や授業でこの問題を解決することは実際には考慮されていない。最後に高校に入った後も多くの生徒が同じ問題を経験している。したがって、Sawada さん (1993)の研究に含まれる基本的な単語は、約 126 単語の日本語のテキストに基本的な外国語を入力することにより、中学生に宛てられた。

外来語をテーマにした別の研究も、Suhartini (2013) が“*Analisis Penggunaan Gairaigo yang Diikuti Verba Suru*” というタイトルで実施した。本研究は、ほとんどすべてが名詞言葉の外来語とその用法に基づいている。2003 年の *The Nihongo Jurnal* と 2008 年の *J-Bridge Beginner* と 2011 年の *JUNON* マガジンの三つのデータソースから、31 のデータオブジェクトを取得した。15 個の単語は外来語+する、日本語に相当するものがあるけど、残りは同等ではない。例えば、日本語に相当する外来語+するはサポートする、日本語に相当するものは支える「サポート、保守、保持など」。本研究では、ほとんどが名詞の単語に属する外来語。その使用には、単語クラスの変化する外来語が時々ある。例えば、名詞の単語は動詞になる。これは、多くの意味を持つ最終節時の[する]動詞を追加することである。

その他の研究は Sari (2019) が単語形成に関する実施した研究である。タイトル「朝日新聞デジタルウェブサイトの自動車技術コラムにおける略語や頭字語の語形成」。この研究では、略語のプロセスに焦点を当てた形態学的プロセスを分析した。つまり、略語と複合語である。

著者は、既存の研究を補完することを目的とした研究を続けたいと考えている。著者は、派生語形式と複合語を選択することにより、時制の吸収語を調べることにした。

#### 5. 研究方法

使用される方法は、存在する状況または現象をそのまま記述することを目的とする記述的な方法である。使用される手段は文書化方法である。

本研究では、59の語彙が得られ、18の語彙は派生語の形の外語であり、その後に動詞の「する」が続き、41の語彙は福語であった。

表 5.1 外来語の「する」の最終接辞付き派生語と複合語の数

番号	研究対象	語彙の数		源
		派生語	複合語	
1	<i>New Approach Japanese Intermediate Course</i>	4	12	Noboru Oyanagi, 2003
2	<i>New Approach Japanese Pre-Advanced Course</i>	9	25	Noboru Oyanagi, 2002
3	NHK News Web	5	4	2019年1月から12月まで

## 6. 分析の結果

表 6.1 和語の形成と母語の形成には「する」の最終接辞付き派生語

番号	派生語	形成		源
		和語	母語	
1	メモして	名詞+動詞	名詞+動詞	ニューアプロー チ中級日本語
2	トする	名詞+動詞	名詞+動詞	
3	ージします	名詞+動詞	名詞+動詞	
4	ンクされる	名詞+動詞	名詞+動詞	
5	ョギングする	名詞+動詞	自動詞+動詞	ニューアプロー チ中上級日本語
6	レンジしたい	名詞+動詞	名詞+動詞	
7	ピーチする	名詞+動詞	名詞+動詞	
8	ェックする	名詞+動詞	名詞+動詞	
9	アップする	名詞+動詞	福祉+動詞	
10	ピーさせて	名詞+動詞	名詞+動詞	
11	ッシュする	名詞+動詞	他動詞+動詞	
12	デューさせた	名詞+動詞	名詞+動詞	
13	ンタルする	名詞+動詞	名詞+動詞	
14	ボイルした	名詞+動詞	他動詞+動詞	
15	ーペンする	名詞+動詞	形容詞+動詞	2019年1から 12月までの NHK News Web
16	クリングしたり	名詞+動詞	自動詞+動詞	
17	シストする	名詞+動詞	他動詞+動詞	
18	タートする	名詞+動詞	他動詞+動詞	

表 6.2 和語の形成と母語の形成には「する」の複合語

番号	複合語	形成		源
		和語	母語	
1	テーマパック	名詞＋名詞	名詞＋名詞	ニューアプロ チ中級日本語
2	バツイち	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
3	ダイニングキ ッチン	名詞＋名詞	他動詞＋名詞	
4	パン屋	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
5	アイスホッ ケー	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
6	スローフード	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
7	トリックア ート	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
8	アイスクリー ム	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
9	コンピュー ターゲーム	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
10	ハザードラン プ	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
11	メジャーリー グ	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
12	タイムカプ セル	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
13	ギネスブック	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
14	ランチバイ キング	名詞＋名詞	他動詞＋名詞	
15	パラサイト シングル	名詞＋名詞	名詞＋形容詞	
16	ホームシ ック	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
17	プロジェク トチーム	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
18	ハッピー・バ ースデー	名詞＋名詞	形容詞＋名詞	
19	ペットロボ ット	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
20	ユーモアセ ン	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
21	ペットボ トル	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
22	エンジンル ーム	名詞＋名詞	名詞＋名詞	
23	ファース ト	名詞＋名詞	名詞＋名詞	

	フード				
24	デジタルカメラ	名詞＋名詞	形容詞＋名詞		
25	ゲームソフト	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
26	サラリーマン	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
27	スポーツジム	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
28	チェーン店	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
29	フリーマーケット	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
30	ブランド品	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
31	フライパン	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
32	ボディビルディング	名詞＋名詞	名詞＋他動詞		
33	フィールドアスレチック	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
34	フランス語	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
35	スタンフォード大学	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
36	テレビゲーム	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
37	コロンビア大	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
38	コーヒークップ	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
39	カスハラ「カスタマーハラスメント」	名詞＋名詞	名詞＋名詞		2019年1から12月までのNHK News Web
40	ロボットメーカー	名詞＋名詞	名詞＋名詞		
41	ユニバーサルツーリズム	名詞＋名詞	名詞＋名詞		

外来語で派生語の形式には、15個のデータが言語と同じ意味を持ち、3個のデータが新しい意味を持つ。それから、32個のデータ量を持つ外来語で派生語フォームは元の言語とは異なる意味で見つかった、9個のデータが新しい意味を持つ。本研究の外来語はすべて「名詞」を使用する。

派生語の形成ではすべての言葉が英語から吸収されるが、英語から吸収された以外の複合語の形成では、9個の言葉は他の外来語の組み合わせである。

表 6.2 外来語の起源

番号	外来語	原語	言葉の起源
1	ア + センス	<i>Humoar + sense</i>	フランス語 + 英語
2	ン + 店	<i>Chain + ten</i>	英語 + 和語
3	ド + 品	<i>Brand + hin</i>	英語 + 和語
4	ス + 語	<i>France + go</i>	フランス語 + 和語
5	+ パック	<i>Theme + park</i>	ドイツ語 + 英語
6	屋	<i>Pão + ya</i>	ポルトガル語 + 和語
7	フォード +	<i>Stanford + daigaku</i>	アメリカの都市名 + 和語
8	ビア + 大	<i>Colombia + dai</i>	アメリカの国 + 和語
9	ー + カップ	<i>Koffie + cup</i>	オランダ語 + 英語

## 7. 終わりに

外来語で「する」の最終接辞付き派生語と複合語の使用、59 の言葉を取得した。派生語の形式は 18 言葉、複合語の形式は 41 言葉を形成する。本研究の外来語はすべて「名詞」を使用する。派生語の形成ではすべての言葉が英語から吸収されるが、複合語の形成では他の外来語組み合わせは 9 言葉になる。

それから、派生語の形成では、元の単語の意味を変える 3 個の言葉と、意味の変化を経験する 9 個の言葉形成の複合語がある。

## 8. 今後の結果

以前に提示された研究結果と結論に基づいて、研究者はこの研究に関して、日本語学習者または同様の研究を特に派生語と複合語の両方の形態で実施したい人のためのさらなる研究の存在を含むいくつかのことを推奨しますより興味深い教育。次に、この研究を他の語彙、例えば、「和語」の形式と組み合わせて、類似点と相違点を調べればよいである。

さらに多様なソースからデータを抽出するために、さらなる調査を行うことをお勧めする。漫画、小説、雑誌、さらにはケーススタディのようである。

## 9. 参考文献

- 澤田、田津子. 1993. *Nihongo Kyouiku no Tame no Kihon Gairaigo ni Tsuite*. Jurnal (Vol.24)
- Sudjianto, Dahidi Ahmad. 2018. *Pengantar Linguistik Bahasa Jepang*. Jakarta : Kesaint Blanc.
- Suhartini, Iin. 2013. *Analisis Penggunaan Gairaigo yang Diikuti Verba Suru*. (Skripsi). Universitas Negeri Semarang. Tidak dipublikasikan
- Sari, Witria Diah. 2018. *Pembentukan Kata Serapan (Gairaigo) Bentuk Ryakugo dan Toujigo Pada Kolom Berita Otomotif-teknologi Website Asahi Shimbun Digital*. (Skripsi). Universitas Pendidikan Indonesia. Tidak dipublikasikan.

## DAFTAR ISI

<b>KATA PENGANTAR</b> .....	<b>i</b>
<b>UCAPAN TERIMAKASIH</b> .....	<b>ii</b>
<b>ABSTRAK</b> .....	<b>iv</b>
<b>ABSTRACT</b> .....	<b>v</b>
<b>要旨</b> .....	<b>vi</b>
<b>SINOPSIS</b> .....	<b>vii</b>
<b>DAFTAR ISI</b> .....	<b>xviii</b>
<b>DAFTAR TABEL</b> .....	<b>xx</b>
<b>BAB I PENDAHULUAN</b> .....	<b>1</b>
1.1 Latar Belakang Penelitian .....	1
1.2 Rumusan Masalah .....	4
1.3 Batasan Masalah.....	4
1.4 Tujuan Penelitian.....	4
1.5 Manfaat Penelitian.....	4
1.6 Struktur Organisasi.....	5
<b>BAB II LANDASAN TEORI</b> .....	<b>6</b>
2.1 <i>Gairaigo</i> .....	6
2.1.1 Definisi <i>Gairaigo</i> .....	6
2.1.2 Sejarah <i>Gairaigo</i> .....	8
2.1.3 Karakteristik <i>Gairaigo</i> .....	10
2.1.4 Aturan Penulisan <i>Gairaigo</i> .....	13
2.1.5 Pembentukan Kata dalam <i>Gairaigo</i> .....	17
2.2 Pembentukan Kata dalam Bahasa Jepang .....	19
2.2.1 Proses Pembentukan Kata Kelompok <i>Ryakugo</i> .....	20

2.2.2 Proses Pembentukan Kata Kelompok <i>Tajugo</i> .....	20
2.2.3 <i>Haseigo</i> .....	21
2.2.4 <i>Fukugougo</i> .....	23
2.3. Definisi Semantik .....	25
2.3.1 Semantik Leksikal .....	26
2.4. Penelitian Terdahulu.....	27
<b>BAB III METODE PENELITIAN .....</b>	<b>30</b>
3.1 Metode Penelitian.....	30
3.2 Subjek Penelitian.....	30
3.3 Instrumen Penelitian.....	31
3.4 Teknik Pengumpulan Data .....	31
3.5 Teknik Pengelohan Data .....	32
<b>BAB IV HASIL DAN PEMBAHASAN .....</b>	<b>34</b>
4.1 Deskripsi Data .....	34
4.2 Kosakata <i>Gairaigo</i> bentuk <i>Haseigo</i> dan <i>Fukugougo</i> .....	34
4.3 Proses Pembentukan Kata <i>Gairaigo</i> dalam Bentuk <i>Haseigo</i> Dilihat dari Proses Pembentukan Kata Semantik Leksikal .....	40
4.4 Proses Pembentukan Kata <i>Gairaigo</i> dalam Bentuk <i>Fukugougo</i> Dilihat dari Proses Pembentukan Kata Semantik Leksikal .....	53
4.5 Temuan dan Pembahasan .....	82
<b>BAB V SIMPULAN, IMPLIKASI, DAN REKOMENDASI .....</b>	<b>86</b>
5.1 Simpulan.....	86
5.2 Implikasi.....	88
5.3 Rekomendasi .....	88
<b>DAFTAR PUSTAKA .....</b>	<b>97</b>
<b>LAMPIRAN</b>	



## DAFTAR TABEL

Tabel 3.1 Jumlah Data <i>Haseigo</i> yang Diikuti Verba <i>suru</i> dan <i>Fukugougo</i> .....	31
Tabel 4.1 <i>Data Haseigo pada buku teks New Approach Japanese Intermediate Course, New Approach Japanese Pre-advanced Course, dan NHK News Web edisi tahun Januari – Desember 2019</i> .....	34
Tabel 4.2 <i>Data Fukugougo pada buku teks New Approach Japanese Intermediate Course, New Approach Japanese Pre-advanced Course, dan NHK News Web edisi tahun Januari – Desember 2019</i> .....	36
Tabel 4.3 Asal Kata <i>Gairaigo</i> .....	83
Tabel 4.4 Perubahan Makna pada Bentuk <i>Haseigo</i> .....	84
Tabel 4.5 Perubahan Makna pada Bentuk <i>Fukugougo</i> .....	84

## DAFTAR PUSTAKA

- Chaer, Abdul. 2003. *Linguistik Umum*. Jakarta : Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul. 2007 . *Linguistik Umum Cetakan Ketiga*. Jakarta : Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul. 2013. *Pengantar Semantik Bahasa Indonesia*. Jakarta : Rineka Cipta.
- Departemen Pendidikan Indonesia. 2008. *Kamus Besar Bahasa Indonesia*. Jakarta : Balai Pustaka.
- Goddard, J. 2017. Recognition of English Loanwords (waseieigo) Among Japanese University Students. *Jurnal : Jurnal Pendidikan Umum Kitano University*, Vol. 22 (2017)
- Japan Foundation. 1995. *Nihongo Kana Nyumon*. Tokyo : Bojinsha.
- Matsuura, Kenji. 2005. *Kamus Besar Bahasa Jepang – Indonesia*. Jakarta : Gramedia.
- Moelong LJ. 2005. *Metodologi Penelitian Kualitatif*. Bandung : PT Remaja Rosdakaya.
- NHK *News Web* diakses dari <https://www3.nhk.or.jp/news/>
- Olah, B. 2007. English Loanwordsin Japanese Effects, Attitudes and Usage asa Means of Improving Spoken English Ability. *Jurnal : Jurnal Penelitian Humaniora*.
- Oyanagi, Noboru. 2002. *New Approach Japanese Intermdiate Course*. Tokyo : Nihongo Kenkyuusha.
- Oyanagi, Noboru. 2003. *New Approach Japanese Pre-Advanced Course*. Tokyo : Nihongo Kenkyuusha.
- Pateda, Mansoe. 2001. *Semantik Leksikal*. Jakarta: Rineka Cipta.

- Pratama, Septian Eka. 2016. *Analisis Kesalahan Penulisan Gairaigo pada Mahasiswa Tk.I sd Tk.IV Pemokusan pada Gairaigo Bahasa Inggris*.
- Podirson, Benedikt Gaudi. (2016). *The History of loan word in Japanese and their effect on the Japanese Language*. Thesis.
- Putri, Tenti Juita. 2016. *Analisis Kesalahan Penulisan Gairaigo pada Pembelajaran Bahasa Jepang*. (Skripsi). Universitas Muhammadiyah Yogyakarta. Tidak dipublikasikan.
- Sari, Witria Diah. 2018. *Pembentukan Kata Serapan (Gairaigo) Bentuk Ryakugo dan Toujigo Pada Kolom Berita Otomotif-teknologi Website Asahi Shimbun Digital*. (Skripsi). Universitas Pendidikan Indonesia. Tidak dipublikasikan.
- Sawada, Tadako. 1993. *Nihongo Kyouiku no Tame no Kihon Gairaigo ni Tsuite*. Jurnal (Vol.24)
- Shibatani, Masayoshi. 2001. *The Languages of Japan*. Cambridge University Press : Cambridge.
- Stanlaw, James. 2004. *Japanese English: Language and Culture Contact*. Hong Kong : Hong Kong University Press.
- Sudjianto, Dahidi Ahmad. 2018. *Pengantar Linguistik Bahasa Jepang*. Jakarta : Kesaint Blanc.
- Suhartini, In. 2013. *Analisis Penggunaan Gairaigo yang Diikuti Verba Suru*. (Skripsi). Universitas Negeri Semarang. Tidak dipublikasikan
- Sutedi, Dedi. 2011. *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung : Humaniora.
- Sutedi, Dedi. 2014. *Dasar – Dasar Linguistik Bahasa Jepang*. Bandung : Humaniora.
- Takunari, Okimori. 2010. *Nihongo Gaisetsu*. Jepang : Asakura Shoten.
- UPI. 2018. *Pedoman Penulisan Karya Ilmiah Upi Tahun Akademik 2018*. Bandung

Wuisang, Justien R. 2010. *Fukugougo Dalam Bahasa Jepang*. Jurnal (Vol.4)

Yosizawa, Norio dan Toshio Ishiwata. 1979. *Gairaigo no Gogen*. Tokyo :  
Kadozawa Shoten.